

大切にしたい絶滅危惧種～植物編

約2年にわたる調査の結果、東由木地区の公園緑地には、東京都の絶滅危惧種に指定されている植物が、実に100種類も生育することがわかりました。地域の貴重な宝物であるこれらの希少な植物たちを、大事に見守っていきたいと思います。

『ひとまちみどり由木』が管理する81ヶ所の公園には、多様な動植物が暮らしています。このコーナーでは、管理作業や巡回の折に出会った動植物について、その際に撮影した写真とともにご紹介していきます。

暖地性のシダ植物

紅葉が美しい**ホラシノブ**（大塚なかおね公園）、軸の白い毛が特徴的な**キヨスミヒメワラビ**（鹿島緑地）、可愛らしい形の**コハシゴシダ**（大塚三号緑地）など、多摩地域では珍しいシダの発見が相次いでいます。いずれも西日本を中心に分布する暖地性の種類です。かつて、宅地開発などでその大半が居場所を失うなか、公園緑地の一角でひっそりと生き残ってきたのかもしれない。



ホラシノブ



キヨスミヒメワラビ



コハシゴシダ

ホドイモ

堀之内東山はぐくみの森緑地は、新興住宅地を取り囲むように残された、広大な里山です。その一角で、珍しいマメ科のつる植物、**ホドイモ**の群落が見つかりました。猛暑の8月、現地の様子を見に行ってみると、ご覧のとおり、美しい花を咲かせていました。



ホドイモ

タマノホシザクラとヤブザクラ

東由木地区を特徴付ける樹木、**タマノホシザクラ**。全国でも、多摩市、町田市、八王子市の三市でしか生育が確認されており、現存する個体数も200本に満たないと言われる極めて希少な桜です。鹿島・松が谷地区の公園緑地では、雑木林の木々や植栽木に混ざり、点々とその生育が確認されており、近縁種の**ヤブザクラ**とともに保護対策を進めています。



タマノホシザクラ



ヤブザクラ

エダウチスズメノトウガラシ

堀之内寺沢里山公園の谷戸では、様々な水田雑草や湿生植物を観察することができます。舌を噛みそうなほど長い名前を持つ**エダウチスズメノトウガラシ**は、田んぼの畔に群生しています。花は背丈がとても低く、私たちも今までずっと見逃していたようです。



エダウチスズメノトウガラシ

ギンリョウソウの仲間

葉緑素を持たず、まるでキノコのような見た目をしたギンリョウソウの仲間たち。菌従属栄養植物と呼ばれる彼らは、樹木と共生する菌類に寄生し、そこから有機物を得て暮らしています。毎年同じ場所に出現するとは限りませんが、これまでの調査で、絶滅危惧種に指定されている**アキノギンリョウソウ**（東中野公園）と**シャクジョウソウ**（大塚西公園・長池公園）が確認されました。



アキノギンリョウソウ



シャクジョウソウ

カセンソウ

環境が変わると、これまで存在しなかった植物が突如として出現することがあります。九兵衛坂公園では、尾根沿いの雑木林を伐採したところ、その翌年に草索性植物の**カセンソウ**が開花しました。土の中で種子が眠っていたのか、それともどこからか種子が飛んできて芽生えたのかはわかりませんが、八王子市内の丘陵部では既に絶滅したと考えられていた種類だけに、嬉しい発見です。



カセンソウ

長池ガーデニングクラブをご案内します

私たちは、立ち上げから3年目の八王子市公園アドプト団体です。東京都公園協会の助成金を受けて活動しています。活動場所は「長池そよかぜガーデン」をはじめ長池公園内の4つの花壇です。種・苗植え、水やり、除草などで花を楽しんでいます。

日常の管理は、手間が掛からないように、宿根草を主体に植栽したり、一年草などで季節感を演出しています。

現在10名程度が、毎月第1・第3金曜日の9時30分から12時まで活動しています。

クリスマスリースづくりや押し花講座なども実施して、楽しい時間を持っています。

参加されたい方は、活動日に自然館受付か、そよかぜガーデンにおいでください。

